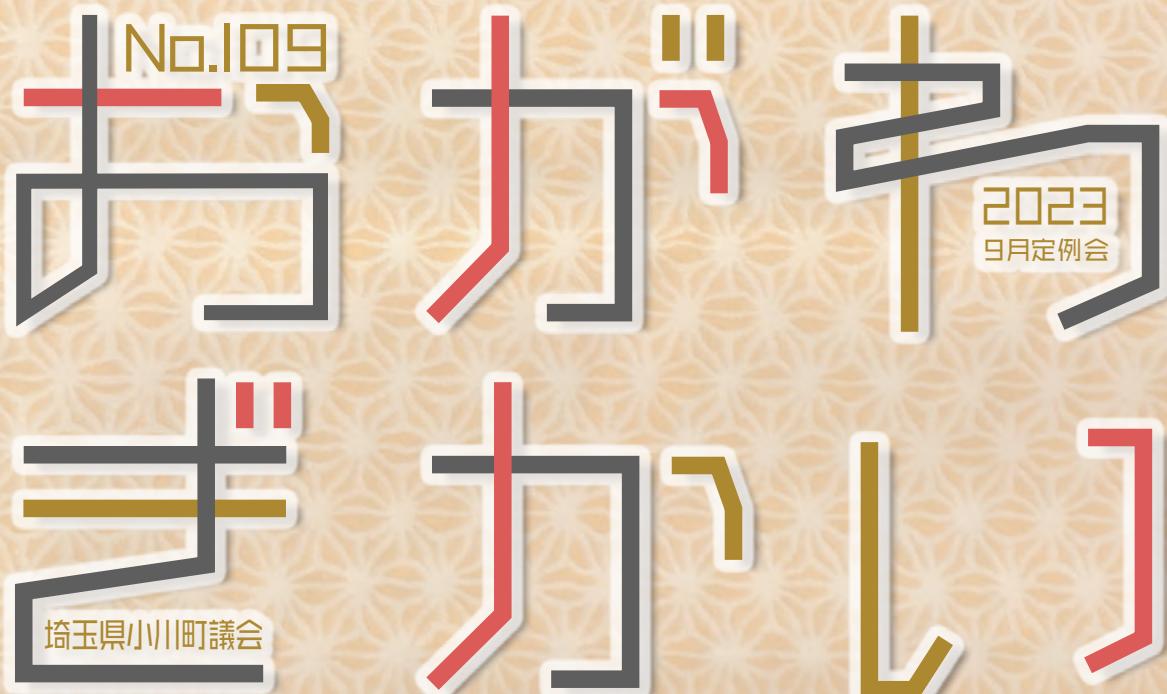


「二人のハート♥」はいつまでも（裏表紙に関連記事）

表紙に使用している画像は、小川和紙の工芸紙です。職人の工夫によりいくつかの加工技術を重ね合わせることで複雑な模様の紙に仕上げることができます。和紙に合わせてあしらった2色は黄金色と浅緋色。秋の豊作の稲穂の色と夕焼けの茜色で秋の訪れをイメージしています。

特集1 P.2-3  
9月5日誕生  
「小川町プライド」を次代へ  
**新生議会始動!!**

特集2 P.4-5  
令和4年度一般会計歳出決算 認定  
**100.6500億円**  
コロナ禍でも進んだ  
小川町色の取組



わたしのひとコト  
LINE クーポンは  
ありがとうございます！  
高橋永和さん

町民の声  
「聴きます×つなぎます」

小川町の素晴らしい  
自然をたくさんの方  
に知ってもらいたい！  
鯨井 均さん

特集3 新シリーズ P.18-19  
**16人の活性化に  
向けて進み続ける  
議会**

# START 始動 MOVE

## 常任委員会

委員会条例に基づき、総務・経済建設・厚生文教の3つの常任委員会を設置。議員は必ずいずれかの常任委員会に所属（任期2年）します。それぞれ所管する事務事業の調査・研究を行い、議案及び請願等を審査します。

## 議会運営委員会

3常任委員会からそれぞれ委員長ほか1人を選出し、構成されています。

委員長 笠原英彦 副委員長 大戸久一  
委員 高橋さゆり 高瀬 勉  
五十嵐康博 稲村壱治

## 議会選出監査委員

山口勝士

### 厚生文教 常任委員会

戸籍年金・国民健康保険、福祉・健康増進、高齢福祉、子育て支援、学校教育、生涯学習等に関する事務事業



### 経済建設 常任委員会

環境対策・農林業、調査、都市計画、



### チェック&バランス

## 一体感のある 議会を めざします！

コロナ後の町経済の復活、進行する少子高齢化と人口減少、災害に強い持続可能なインフラ整備等。

今までの考え方や手法では、予想を超えて変化を続ける時代に取り残されてしまいます。

議会がやるべきこと、行政がやるべきことを明確にし、双方向の努力により「小川町プライド」を次代に引き継いでいきます。

新生議員一人一人が歩んできた道や考え方方に違いはありますが、総力をあげ、信頼される議会を創っていきます。



9月5日から新たな任期をスタートさせた「新生小川町議会」。猛暑の中で行われた選挙を経て「誕生」した期待の「新鋭」、これまで以上の「議論」が今ここに「開会」する！

## 新鋭 Emerging talent

## 誕生 Birth

## 議論 Discussion

## 開会 Opening



議員紹介は  
HPでも見られます

### 総務 常任委員会

総務、企画・財政、防災・防犯、税務、会計等に関する事務事業



令和4年度 一般会計歳出決算  
100億 6500万円



## 注目1 ふるさと納税 子ども応援事業等に活用

まちづくり寄附金の約半分1067万円が「次代を担う子どもたちを応援する事業」への寄附で、図書の購入・トイレの改修・保育園の備品や電子黒板の設置等に使われた。企業版ふるさと納税は、東小川学校跡地の利活用及び道の駅リニューアルに充てられた。



### 寄附の増加を

まちづくり寄附金の収支は、約300万円のプラスになった。一方、他市町村への寄附で税収減も起きている。寄附の増加に向けたさらなる努力を。

まちづくり寄附金  
990件 2064万円  
地方創生応援税制寄附金  
(企業版ふるさと納税)  
8件 750万円



## 注目2 ごみ減量化対策

### 可燃ごみ処理の民間委託を開始 決算額 173万円

資源回収実施団体への奨励金や給食残渣の利活用事業への補助。また、職員による出前講座を行い、分別や生ごみ乾燥の推進など、啓発に努めた。



### さらなる減量化への取組を

民間委託で処理費用は大幅増となつたが、可燃ごみの量は前年度比4%減少し、処理費用は約1000万円の削減となった。可燃ごみの減量はそのまま町負担の減につながる。さらなる減量化への取組を。



## さらに期待！

### 地域防災訓練のさらなる展開

令和4年度の地域での実施は22回。地域を超えての合同実施や実情に合った、きめ細やかな内容などの工夫も出てきたが、さらに拡大を望む。

### デマンドタクシーの継続

値上げへの一定の理解は得ているが、高齢者にとって影響が大きいのは事実。継続を求める意見が強いだけに、今後も丁寧な議論を望む。

### 景観モデル地区の案内表示

全体で27か所まで増加し、アクセス数も3倍になっている。町の重要な施策である観光に力を入れ、さらなる関係人口の創出を望む。

次ページは関連質疑

税収増を



### 監査委員の意見 (抜粋)

「税収を増やし自主財源の確保を」  
の積み立ては前年度に比べ、約1億の増加で12億7000万円となつた。引き続き事務の効率化や企業誘致を進め、税収を増やして自主財源を確保することが必要である。そして、公共施設の管理の適正化を進め、経費を削減することを望む。

月19日)は、町が前年度に執行した事業や「税金の使い道」をピックアップします。



## 町色の取組

### 注目3

### おがわん野菜の購入補助 魅力的な学校給食の提供と充実

決算額 14万6000円



給食に使用される「おがわん野菜」の割合は、年々増加している。

また、通常11月～翌年3月の間は町産米を使用。(4月～10月は埼玉県産米)

令和5年11月から農林水産省の「地産地消コーディネーター」の派遣が決定し、さらなる「おがわん野菜」の利活用が期待される。

### 安全・安心・安定の給食提供を

「おがわん野菜と町産米」の割合を増やし、当町でしか味わえない自慢の学校給食の充実に期待する。さらには、学校給食センターの更新に向けた取組を加速させ、安全・安心・安定の給食提供を望む！



経費削減



### 《税収を増やし自主財源の確保を》

一方、町債は減少傾向で、令和4年度は前年度に比べ、約4億3300万円(5%)の減少である。また、財政調整基金(町



### 地域福祉委員の増員

87万円

地域の見守り活動強化や支援体制充実につながる地域福祉委員を委嘱している、社会福祉協議会への補助。

### 病児・病後児保育の展開

610万円

病気または病気の回復期にある、生後1歳から就学前までの児童を私立保育園に併設の病児保育室で一時預かり。

### スマリバLINEクーポン実施

890万円

県内初、LINE「小川町情報スマリバ」を活用した電子クーポン事業。

### 空き家対策

### 「お試し暮らし体験住宅」の提供 60万円

移住希望者に対し、町内での生活を一定期間体験できる機会の提供。

### 空き店舗等活用補助金

75万円

店舗の改修及び家賃の補助。

### スクールバスの運行

860万円

旧東小川小学校区児童の小川小学校への通学のためスクールバスを運行。

### 高齢者保健と介護予防

### 一体的事業

830万円

「自宅で自立した生活が送れる高齢者の増加」を目的に、生活習慣病の重症化予防とフレイル対策。

### 歯科口腔保健の推進

9万円

高齢者の一人暮らし調査時にリーフレット・歯ブラシセット配布、虫歯や歯周病予防啓発。

### 職員研修の充実

19万円

派遣研修に延べ64人、内部研修に延べ352人参加。



## 可燃ごみの減量・処理費用の減額さらなる分別意識の向上を

Q 可燃ごみ処理費用の減額にかけた取組の推進や、住民等へのアプローチは。

A 令和4年度から、小川地区衛生組合として可燃ごみ処理を民間に委託しています。「ごみの減量は比例して処理費用の削減につながるので、今後も地域への出前講座や生ごみ処理機への導入補助など、分別意識の向上や生ごみの減量化（乾燥させる等）について啓発しています。なお、令和4年度の可燃ごみの量は「前年度比で4%削減され、処理費用も約1000万円の削減」が図られました。

このところ、雑がみや衣類の分別が意識されています。生ごみの水切りは、我が家ではネットを使っています。

最初の一歩は  
分別

環境美化推進委員  
駒崎秋男さん  
(東小川6丁目)



まち歩きマップ  
小川町HP



### 景観モデル地区の案内標識

案内標識設置の効果等は。

A 令和4年度はモデル地区内の主要ポイント15か所に整備し、全体で27か所に設置されています。また、関連のガイドブック等にも掲載し、周知を図っています。標識

には「次元バーコード」が配され、ポイントごとに情報が表示される仕組みとなっています。今回の追加設置により、アクセス数も以前と比べて3倍（64回→198回）と増えています。

### 増加する空き家への対策

実績等は。

A 寄附された空き家一棟（件）を改修し、移住希望者に対して町内での生活を一定期間体験できる機会を提供しています。以前、入居していた夫婦は定住につながり、その後、現在は子育て世代の家族が利用し、小川町暮らしを体験しています。改修費用などの課題もありますが、今後も寄附物件を募り、体験住宅を増やしていく考えています。

### 空き店舗の解消を

各種補助金の動向は。

A 令和4年度はまだ「コロナ禍もあり、店舗の改修・家賃補助の実績は2件に留まりました。一方で、令和5年度には、補助対象エリアの拡大と補助の額を図る中で4件（令和5年11月15日時点）の実績を有し、着実に空き店舗の活用へとつながってきていました。

地域のお役に立てれば

「少しでも地域のお役に立てれば」と思って活動しています。

地域福祉委員（腰二）  
山神正弘さん（左）  
馬場美知子さん（右）

### 地域福祉委員の増員

担い手の現状等は。

A 平成28年度の12地区41人の設置を皮切りに、令和4年度末では55地区156人となり、委嘱人数は順調に増えています。また、民生・児童委員を経験した方に地域福祉委員を引き受けている一方で、地域福祉の推進につながる登録人数の増加が地域の課題解決や地域福祉の推進につながると捉えていますので、今後も未設置地区にその必要性を理解してもらえて、るように働きかけていきます。



フレイル予防応援  
ポータル 埼玉県HP



町民の歯科口腔を守るために配られているケアグッズ。「健康」に関する事業に限らず様々な機会・イベントを通じて促進に努めています。



## 介護保険 特別会計決算 包括的支援の取組

**Q** 特に「ケアマネージャー」への支援や、取り巻く現状は。

**A** 地域包括支援センター（社協）では、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう多職種<sup>①</sup>と

の連携を図っています。個々の高齢者の状況や変化に応じ継続的な支援をするため、ケアマネージャーに対して個別の指導や相談、支援困難事例等への助言を行っています。



皆さん受診を

特定検診の令和4年度の受診率は約41%と上がっていますが、国の目標す60%には達していません。

瀬川病院 豊院長

**Q** 現在の人間ドックと併進して脳ドックを実施する考えはないか。

**A** 県内でも人間ドックとの併進ドックとして実施している市町村はありますが、予算上、補助額2万円を据え置く場合に自己負担額が増えてしまい、人間ドックの受診率が下がってしまう恐れがあります。過去に府内でも検討した経緯がありましたが、「特定健診」と「がん検診」を併せて受診することで、脳疾患を起因とする生活习惯病の予防に効果があると捉えているので、引き続きこれらの併用受診に取り組んでいきます。

## 新型コロナウィルス感染症の影響 「2類相当」最終年度における 健康・医療

特定健診のご案内  
小川町HP

### 特定健康診査の受診率向上

**Q** さらなる受診率向上につなげる方策等は。

**A** 40歳から74歳の被保険者が対象で「内臓脂肪型肥満」に着目しを予防することを目的としています。受診率向上の取組として、ポスター掲示・のぼり旗の設置をはじめ、町公式X（旧ツイッター）の活用や、職員が啓発用ポロシャツ・ジャンパーを着用するなどして努めています。

また「ナツジ行動理論」を応用し、対象者に即したアドバイスが付された勧奨ハガキを送付し、受診を促しています。令和5年10月31日時点の受診率は11%となっています。



ポロシャツ・ジャンパーを着用しているのは健康福祉課に限りません。クールビズ・ウォームビズにもつながる取組で啓発に努めています。

特定健診のご案内  
小川町HP

### 収入未済額の増加

**Q** 令和4年度は前年度比で10%近く増えてしまっているが、背景等は。

**A** 一般会計の個人町民税と同様に「コロナ禍における給付金の影響」で、所得の増加に伴い課税額も増えてしまつたために、納付が

困難となつた事案が影響しているものと考えています。

また、元来、国民健康保険の構造的な課題として、世帯収入や加入者の年齢構成等、財政基盤は脆弱であり、資力のない世帯も増え中で収入未済額が増加したものと捉えています。

## 受給者の利便性向上へ 重度心身障害者医療費の現物給付

### その他の条例改正

**Q** 条例改正に至つた経緯等は。

**A** 令和4年度に埼玉県が、県の医師会・歯科医師会・薬剤師会と、県内医療機関を受診した場合、「現物給付<sup>②</sup>」を行うこととする協定を結びました。町としても、この流れに伴つて、現物給付の実施の可能性について検討を続けてきました。町全体の事業を精査する中で、令和6年度からの実施に向けて改正をお願いするものです。

### 訪問徴収の頻度「増」

**Q** 不納欠損額は減少したが、収入未済額は増加している。背景等は。

**A** 夜間や休日に実施した納付相談・臨宅徴収・電話での催告などの成果として、不納欠損の減額につながつたと考えています。一方、収入未済額の増加は、新型コロナウイルスの影響による訪問徴収等の減少が要因と捉えています。今後は感染状況などを総合的に判断し、徴収の機会・頻度を増加させ、収入未済額の圧縮に努めます。

**Q** 当町における対象者数や負担額等は。

**A** 令和4年度の実績として、対象者は573人で医療費の合計は4966万円となっています。

また、今条例改正に伴う財政負担の見込みは、年間で給付額890万円・審査支払い手数料70万円となり、合計で960万円程度の増額を予定しています。

## 学童クラブ支援員の処遇改善

Q 国・県の補助を受け、学童ク

ラブ支援員の処遇改善に係る費用  
増が示された。各支援員の賃金に  
ついて、どの程度改善が図られる  
のか。

A 運営面は各学童クラブにお願  
いしていますので、基本の給与等  
に差はありますが、当初予算及び  
今回の補正増を含めると、正規職  
員で月額50,000～2万円、パート  
・アルバイトで時給200円程  
度の上昇を見込んでいます。

Q 当初予算では武道館の雨漏り  
対策として予算の計上があつたが、  
追加で示された修繕の詳細は、  
A 利用者から、剣道場の床面に  
「ささくれ箇所」があるとの報告を  
受けました。

Q また、床のワックスが剥がれ  
ているとの情報もありましたので、  
修繕を図るものであります。

### 武道館剣道場「床」の修繕

Q 当初予算では武道館の雨漏り  
対策として予算の計上があつたが、  
追加で示された修繕の詳細は、

A 利用者から、剣道場の床面に  
「ささくれ箇所」があるとの報告を  
受けました。

Q また、床のワックスが剥がれ  
ているとの情報もありましたので、  
修繕を図るものであります。

## 「道の駅」周辺整備

Q 道路右折帯の整備設計委託料  
が示されたが、その実現性等は。

A 地域の要望として、国道25  
号における右折帯の必要性につ  
いて指摘を受けています。再整備  
後は、現在と比べてかなり多くの  
来客数を見込んでいますので「交  
通の円滑化」は重要と捉えています。  
スムーズな右折をどのように  
誘導するかなど、県警察・小川警  
察署・道路管理者（県）等と協議  
を進めていくために、測量や図面  
の作製が必要となりました。

A 道の駅の隣接地に駐車場の拡  
張を検討しています。また、南側  
にある砂利の臨時駐車場の測量や、  
県が進める「水辺 de ベンチャーチ  
ャレンジ」事業の関連で、遊歩  
道の整備を町で行うことになつて  
いての内容等は。

Q 周辺整備に係る工事設計につ  
いての内容等は。

いますので、それらを含めた工事  
設計を予定しています。臨時駐車  
場を有効活用し、家族で過ごして  
もうかる場の設定等も含めて検討  
していきます。



当協議会では町民の皆さんや観光に訪れる  
方々も広く利用でき、楽しんでいただき、そして  
「また来たい」と思ってもらえる取組を進めています。  
これをチャンスに道の駅～仙元山～下里エリア  
(見晴らしの丘公園、カタクリなどの春植物、国蝶オオム  
ラサキ、有機農産物、旧下里分校、し尿処理場跡地、  
道の駅臨時駐車場など多くの素材)の整備・利活用に  
期待を膨らませています。

小川・下里地区楓川水辺活用調整協議会会長  
内野幸一さん(下小川三)

他8議案も  
全員賛成で原案どおり  
「可決・認定」しました



### 公開します 審議した主な議案



議員の賛否内訳と審議結果  
○…賛成 ×…反対  
一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

議案名	議員名	審議結果										審議結果			
		田中立男	関根慶則	岡部久志	田端良成	稻村壩治	鈴木秀尚	五十嵐康博	笠原規弘	大戸久一	笠原英彦	高瀬	山口勝士	島崎隆夫	高橋功人
一般会計	100億6500万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計(事業勘定)	35億9600万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計	4億6000万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計(保険事業勘定)	29億2000万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 9の視点 一般質問

全質問項目は小川町ホームページから見られます。議会よりでは議員ごとに要約版で掲載。全文(会議録)は令和5年12月下旬に公開予定です。



「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言も交え、町に考えを質す。

初議会で一般質問に挑戦！ベテラン議員の一問一答の妙！久しぶりに復活した「発言席」から届ける質問の数々に注目ください。

皆さんどのテーマに関心がありますか？



- P.17 変化する町
- P.17 学校給食費
- P.16 ユーチューブ
- P.16 災害対策
- P.15 パトリア
- P.15 駅北側整備
- P.14 脱炭素化
- P.14 赤字決算
- P.13 地方創生

A Q

当町では、国の地方創生推進交付金を活用し、3年間にわたり「まち×ひとプロジェクト」を実施してきた。令和5年度も事業予算を計上し、既に半年が経過している。活発な動きが見えないが現状は。

A 政策推進課長

当プロジェクトは、昨年度の地方創生推進交付金の終了により一区切りになります。本年度は3年間の成果や課題を整理したうえで、プラットフォーム参加者を中心にイベント等の事業を展開する予定です。

Q 支付金活用の狙いとして「自立性」や「事業主体の形成」等が求められているが、プロジェクトの持続可能性と出口について考えを。政策推進課長

コロナ禍の状況に応じた判断をする事項も多く、



実行委員会が実施したおがわのぐるり市



いがらしやすひろ  
五十嵐康博議員

が町に問う！

Q

当町では、国の地方創生推進交付金を活用し、3年間にわたり「まち×ひとプロジェクト」を実施してきた。令和5年度も事業予算を計上し、既に半年が経過している。活発な動きが見えないが現状は。

A 政策推進課長

当プロジェクトは、昨年度の地方創生推進交付金の終了により一区切りになります。本年度は3年間の成果や課題を整理したうえで、プラットフォーム参加者を中心にイベント等の事業を展開する予定です。

Q 支付金活用の狙いとして「自立性」や「事業主体の形成」等が求められているが、プロジェクトの持続可能性と出口について考えを。政策推進課長

コロナ禍の状況に応じた判断をする事項も多く、

一部会費制の導入を実施したもの、自主財源になりえる状況までには至っておりません。

また、コロナ禍により実際に顔を合わせた交流機会の減少なども影響し、なかなか事業推進主体となりえる組織を形成するのは難しかったと考えています。

Q

当町では、国の地方創生推進交付金を活用し、3年間にわたり「まち×ひとプロジェクト」を実施してきた。令和5年度も事業予算を計上し、既に半年が経過している。活発な動きが見えないが現状は。

A 政策推進課長

当プロジェクトは、昨年度の地方創生推進交付金の終了により一区切りになります。本年度は3年間の成果や課題を整理したうえで、プラットフォーム参加者を中心にイベント等の事業を展開する予定です。

Q 支付金活用の狙いとして「自立性」や「事業主体の形成」等が求められているが、プロジェクトの持続可能性と出口について考えを。政策推進課長

コロナ禍の状況に応じた判断をする事項も多く、

一部会費制の導入を実施したもの、自主財源になりえる状況までには至っておりません。

また、コロナ禍により実際に顔を合わせた交流機会の減少なども影響し、なかなか事業推進主体となりえる組織を形成するのは難しかったと考えています。

Q

当町では、国の地方創生推進交付金を活用し、3年間にわたり「まち×ひとプロジェクト」を実施してきた。令和5年度も事業予算を計上し、既に半年が経過している。活発な動きが見えないが現状は。

A 政策推進課長

当プロジェクトは、昨年度の地方創生推進交付金の終了により一区切りになります。本年度は3年間の成果や課題を整理したうえで、プラットフォーム参加者を中心にイベント等の事業を展開する予定です。

Q 支付金活用の狙いとして「自立性」や「事業主体の形成」等が求められているが、プロジェクトの持続可能性と出口について考えを。政策推進課長

コロナ禍の状況に応じた判断をする事項も多く、

新生議会に期待することは？

Vol.23

Mini Interview P17までつづきます！  
オガワマチのこと・ギカイのこと  
一緒に見よう、考えよう



**Q** 南北出口を結ぶ自由通路は「どのような設計」か。  
**A** 都市政策課長 駅南口のコンビニ北側付近と小川高校体育館西側を結ぶ自由通路です。改札口は橋上駅化し、自由通路からアクセス可能な設計です。

**Q** どのような駅北側整備を計画しているのか。

**A** 都市政策課長 町道5090線（小川高校南側の道路）は2車線に拡幅し、歩道を整備する予定です。体育館西側にバスの乗り入れが可能なロータリーを整備する計画です。

**Q** ダイヤの改正を危惧するが、小川町駅の乗降客数の推移は、**A** 都市政策課長 1日当たりの乗降客数は2018年で9899人、2022年で7759人です。



「志あるところ道は必ずひらける」

**Q** パトリアの浴室・プールの休止は「介護予防・健康増進に取り組める施設に転換する」と説明してきたが。

**A** 長生き支援課長 転換については、現在取り組んでいる事業の進捗や施設自体の老朽化への対応、町の財政状況などの観点を踏まえ、どのようにすべきかを十分に考える必要があると認識しています。

**Q** 総合福祉センター運営懇話会では、どのような話し合いがあつたのか。

**A** 長生き支援課長 「障害者や高齢者もできる軽トレーニング施設」「多世代が交流できるスペース」「災害時に必要な備蓄品倉庫」等の意見がありました。

**Q** 大規模な設備の更新と多額の予算確保が必要との答弁だが、公



施設転換を待つ旧プール側

◆ その他の質問

障害者の就労支援

◆ 答弁 施設転換に取りかかる状況ではありません

## 駅北側整備

かさはらのりひる  
笠原規弘議員  
が町に問う！

**Q** 国費率40%の男衾駅周辺整備を参考に「小川町復活」へ向けた駅北側整備を直ちに仕掛けるべきではないか。

**A** 町長 課題だった公共施設の方向性を具現化する時期にきており、調査研究費等の予算化は考えていませんが、諦めることなく取り組んでいきます。

**Q** パトリアの浴室・プールの休止は「介護予防・健康増進に取り組める施設に転換する」と説明してきたが。

**A** 長生き支援課長 転換については、現在取り組んでいる事業の進捗や施設自体の老朽化への対応、町の財政状況などの観点を踏まえ、どのようにすべきかを十分に考える必要があると認識しています。

**Q** 総合福祉センター運営懇話会では、どのような話し合いがあつたのか。

**A** 長生き支援課長 「障害者や高齢者もできる軽トレーニング施設」「多世代が交流できるスペース」「災害時に必要な備蓄品倉庫」等の意見がありました。

**Q** 大規模な設備の更新と多額の予算確保が必要との答弁だが、公

共施設の集約化等を図る中でパトリアの大規模改修が必要と考えるが。アの大規模改修が必要と考へるが。校給食センター・リリック大ホール等の課題の方向性について動いています。パトリアの施設転換に取りかかれる状況ではありません。

つづく！

夢の実現のため、話せる英会話教育をしてください。  
(I・Kさん 12歳)



YouTubeとか動画での発信にもチャレンジしてほしいな。  
(O・Jさん 36歳)



**Q** 総務省ホームページにある決算カードを見ると過去21年にわたりて、当町の実質単年度収支が赤字基調であるが。

**A** 政策推進課長 決算カードは、全国の地方公共団体の決算概要について公表したもので。基金の積立や地方債の繰り上げ償還など未来に影響を及ぼす要素を除いて実質的な単年度の収支を表した数字です。その分を含めて計算すると過去21年間で、赤字は11回、黒字は10回となります。健全化判断比率を約33・4万人と見込んでい

**Q** 道の駅おがわまち再整備基本計画では、30分商圏（ミニ観光圏）を約33・4万人と見込んでいます。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないか。

**A** にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その程度、管理運営事業者と適切に対応します。

環境に配慮した移動手段を検討（周辺整備）

**Q** ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。

**A** 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じ考えています。

**Q** 木質バイオマスセンターの開設は、どこまで進んでいますか。

**A** 環境農林課長 木質バイオマスセンター開設の実現に向け、月1回ほど、事業者と意見交換を進めています。

**Q** 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。

**A** 町長ほか 無償化には700万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食材費は保護者負担をお願いしているところです。また、町村間の競争になつていています。

**Q** 住民が出資し合って作った発電所

## 赤字決算

たばよしなり  
田端良成議員  
が町に問う！

答弁 健全化が必要な団体には該当しません

## 脱炭素化

すずきひでなお  
鈴木秀尚議員  
が町に問う！

答弁 チームを作つて取り組んでいます

答弁 チームを作つて取り組んでいます

答弁 チームを作つて取り組んでいます

子供たちが住みやすい町、住み続けたいと思える町づくりを。(O・Nさん 39歳)



几又 質問

14



# 10/27 開催 第1回 議員意見交換会からの報告

Point 1 ー自由に意見が言える場所へー

## 情報の共有化と認識の共通化

【議員意見交換会等の定期開催】

これまで全員協議会等の場を通じて、様々な情報を共有してきた。他方、議員経験の多寡により、同じ情報でも受け取り方に差異が生じていたことも事実。16人の過半数が2期以下となった今期の議員構成にとって「自由討議」の機会を増やすことは重要である。

Point 2 ー「個」の議員×16=「全」の議会へー

## 議員の資質向上と一体感のある議会

【調査研究や研修機会の確保】

これまで常任委員会・会派・個人など、単位は別にしても相応に学ぶ機会は確保してきた。他方、議会の活性化・改革を図る上で必要な知識・技術に特化した研修は皆無。多様化する住民ニーズに「即応する議会」の構築は急務である。

Point 3 ー常任・議会運営・議会広報発行に係る各委員会の充実へー

## 委員会の機能強化と発展的な取組

総務  
常任委員会

テーマ  
公民共創による持続可能な公共施設の利活用

目的  
学校跡地の利活用による行政コストの削減と町民サービスの維持向上に資するため

厚生文教  
常任委員会

テーマ  
ライフステージに応じた「スポーツ機会の創造」と「健康づくりに資する環境整備」

目的  
生涯にわたりスポーツに親しむことで得られる健康増進から「医療・介護に係る費用負担の減少」と「町民の健康長寿」に資するため

先進地視察先 長野県飯綱町（総務・厚生文教・議会運営）佐久市（経済建設）

経済建設  
常任委員会

テーマ  
地域に根差した特色ある魅力的な商店街の取組と小川町駅周辺の活性化

目的  
町内における消費の喚起と拡大から「地方元経済の再興」と「町全体の活性化」に資するため

議会運営  
委員会

テーマ  
「進み続ける議会」と「施策を後押しする政策提言」の在り方

目的  
住民ニーズと時代に見合った議会の活性化による議員の資質向上に資するため

全員で踏み出す一歩



## 改革・活性化の歩み (平成18年以降)

2006

平成18年12月  
定数削減20人→16人

2018

平成30年7月  
議長から議会運営委員会に「人口規模に見合った議員数の検討」について諮問

2019

議員研修会  
「地方議員の定数問題と議会改革の在り方」  
講師:専修大学法学部 小林弘和教授

2020

平成31年3月  
議会運営委員会から議長に「人口規模3万人において住民サービスを十分に提供するためには議員数16人が妥当である」と答申  
令和2年5月  
「コロナ禍にある議会の在り方」を模索  
一般質問の時間短縮(75分→60分)・議案質疑の事前通告制など

2023

令和5年10月  
「議会の活性化」を日途とした「議員意見交換会」の定期開催を決定

特集3

新シリーズ

16人の一歩!  
活性化に向けて進み続ける議会

「議会改革」が叫ばれて久しい。多くの町民が期待する「議会改革」を短期間で実現することは容易ではない。しかし、今夏の選挙で町民から負託を受けた16人は、徹底的に議論し、情報の共有化を図る。また、議会改革については、合意できることから具体的に手続を踏み実施していく。今後、議員間討議の状況を見える化し、町民の皆さんに示していきたい。(発行責任者)

一部の行政サービスを複数の市町村が共同で行うための団体が一部事務組合です。構成市町村の議会から議員を選出しています。

ごみ処理・し尿処理

小川地区衛生組合議会 (令和5年8月7日)  
バイオガスプラント施設の見学会を開催

令和4年度一般会計の歳出決算は13億2100万円で、小川町の負担額は約4億6300万円となりました。「可燃ごみ処理の民間委託」の初年度は、寄居バイオガスプラント施設の「軽微な故障」や「ばや」に見舞われ、スムーズな処理(発酵)が進まなかつた期間もありました。住民対象に同施設の見学会等も適宜開催していますので、ともに事業の進捗をチェックしていきましょう。

## Back to おがわぎかじ No.108

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー

興味をもてる  
内容です!高橋永和さん  
(能増)  
TAKAHASHI Towa

## 前号 (No.108) を読んだ率直な感想を

私も泥だらけになってやつたので、しろかきを楽しむ八和田小学校児童の表紙写真を見て、懐かしく思いました。

## —ズバリ、議会・議会だよりに物申す?!

議会や議会だよりもそれほど関心がなかったのですが、これをきっかけに興味をもっていきたいです。小川町の現状がわかる内容でよかったです。

高橋さんイチオシの記事はP.2  
～3「地域の実情に合わせて  
町が選んだ事業はコレだ!」



## Gikai's comment

若い方々も関心がもてる議会だよりを心がけていきます。小川町のよさを実感できるよう頑張ります。

新編集委員から  
ひとこと

高瀬 勉 委員

前メンバーから唯一の居残り…留年。今度こそ卒業できるよう研鑽に励む!



高橋功人

発行責任者  
前進を続ける議会の様子をお伝えしますので、叱咤激励の声をお寄せください。



関根慶則

委員  
ひとりの読者から編集する立場になりました。どうぞよろしくお願ひいたします。



山口勝士

委員長  
大変だ!「いいものを作りたい」思いと実力がかみ合わない。頑張るぞ!



岡部久志

委員  
多くの皆さんに議会の活動をわかりやすく伝えています。



鈴木秀尚

副委員長  
議会を振り返ることによって、事業の意味合いや各議員の思いを再確認できました!



田端良成

委員  
一期一会。議員になり、編集委員になりました。新たな機会に感謝!

12月定例会は 11月30日(木)から開催しています

※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ

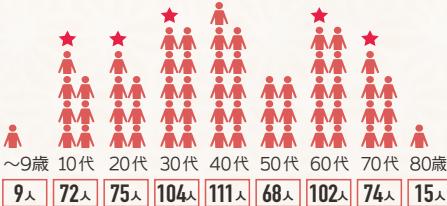


議員印 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ (★印は今号取材)

630人

※No.80以降の合計人数



発行責任者: 小川町議会議長 高橋功人  
編集: 議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚  
委員 高瀬 勉・関根慶則  
岡部久志・田端良成

・今号の表紙・  
もうすぐ1年生  
「七つの祝」

11月8日に各公民館が主催した七つの祝イベントで、元気いっぱいの子供達に触れた。もうすぐ1年生! おっきなランドセル背負えるかな!?



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています